

令和2年度 教育課程研究集会  
中学校 共通

奈良県教育委員会事務局 学校教育課

# 学習評価の在り方ハンドブック（小・中学校編）

（令和元年6月）



以下「ハンドブック」という。

- 学習評価の基本的な考え方
- 学習評価の基本構造
- 特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動の評価について
- 観点別学習状況の評価について
- 学習評価の充実
- Q & A 等

国立教育政策研究所のwebページからダウンロードすることもできます。



# 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 (令和2年3月)



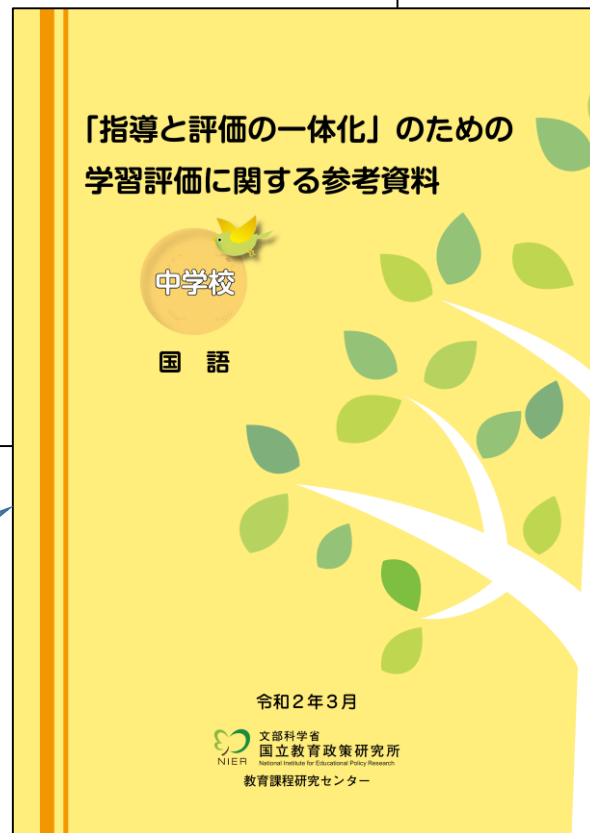
以下「参考資料」という。

第1編 総説

第2編 「内容のまとめりごとの評価規準」を作成  
する際の手順

第3編 単元ごとの学習評価  
・指導事例の紹介

国立教育政策研究所のwebページから  
ダウンロードすることもできます。



「教育革新に貢献する学校空間（教育者と建築家の対話の促進）  
—海外と日本の事例から—」



## NIER NOW

- 令和元年国立教育政策研究所  
文教施設研究講演会を開催
- 教育改革国際シンポジウム  
「幼児教育・保育の国際比較」を開催
- 「教育革新」プロジェクト  
フェイズ1シンポジウムを開催

### イベント情報

イベント情報 ▶

### 新着情報

過去の情報 ▶

- 令和2年 7月 1日 **プレス発表** [教育政策部の資料提供サービスの一環として、PDF 908KB](#)
- 令和2年 6月 18日 **更新情報** [「名簿所管指導記録方式」](#)を行いました。
- 令和2年 6月 16日 **更新情報** [令和元年度国立教育政策研究所 教育改革国際シンポジウムの「報告書」](#)を掲載しました。
- 令和2年 6月 10日 **更新情報** [『文教施設研究センター 非常勤職員（期間型教職員）の募集について（令和2年8月1日採用予定分）』](#)を掲載しました。
- 令和2年 6月 9日 **研究成果報告** [「学校における教育課程構成の実証的研究 報告書1」](#)及び主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善の視点について（検討メモ）を掲載しました。
- 令和2年 6月 5日 **研究成果報告** [令和元年度教育課程研究指定校事業研究協議会（高等学校：数学、小学校・中学校：カリキュラム・マネジメント、小学校・中学校：E.S.D.）の文部科学省動画チャンネルmextchannelへの公開について](#)
- 令和2年 5月 20日 **更新情報** [『総務部会計課 非常勤職員（期間型教職員）の募集について（令和2年7月1日採用予定分）』](#)を掲載しました（募集は終了いたしました）。
- 令和2年 5月 14日 **更新情報** [幼児教育研究センター・関係機関リンクに「新型コロナウイルス対策に関する情報提供」](#)を掲載しました。
- 令和2年 5月 1日 **更新情報** [令和元年度国立教育政策研究所 教育改革国際シンポジウムの「当日資料・パネルディスカッション報告書」](#)を掲載しました。

最新情報

### 研究紹介・研究成果

国立教育政策研究所で行われているプロジェクト研究など、主な研究を御紹介します。

### 検索・閲覧

本研究の研究成果や教育関連コンテンツの検索・閲覧ができます。

教育情報共有ポータルサイト

幼児教育研究センター

社会教育実践研究センター

子供の成長に関する調査研究

こちらから回答できます。

### トピックス

- ▶ [全国学力・学習状況調査](#)
- ▶ [学習指導要領実施状況調査](#)
- ▶ [指導資料・事例集・学習評価に関する参考資料](#)

国立教育政策研究所webページ

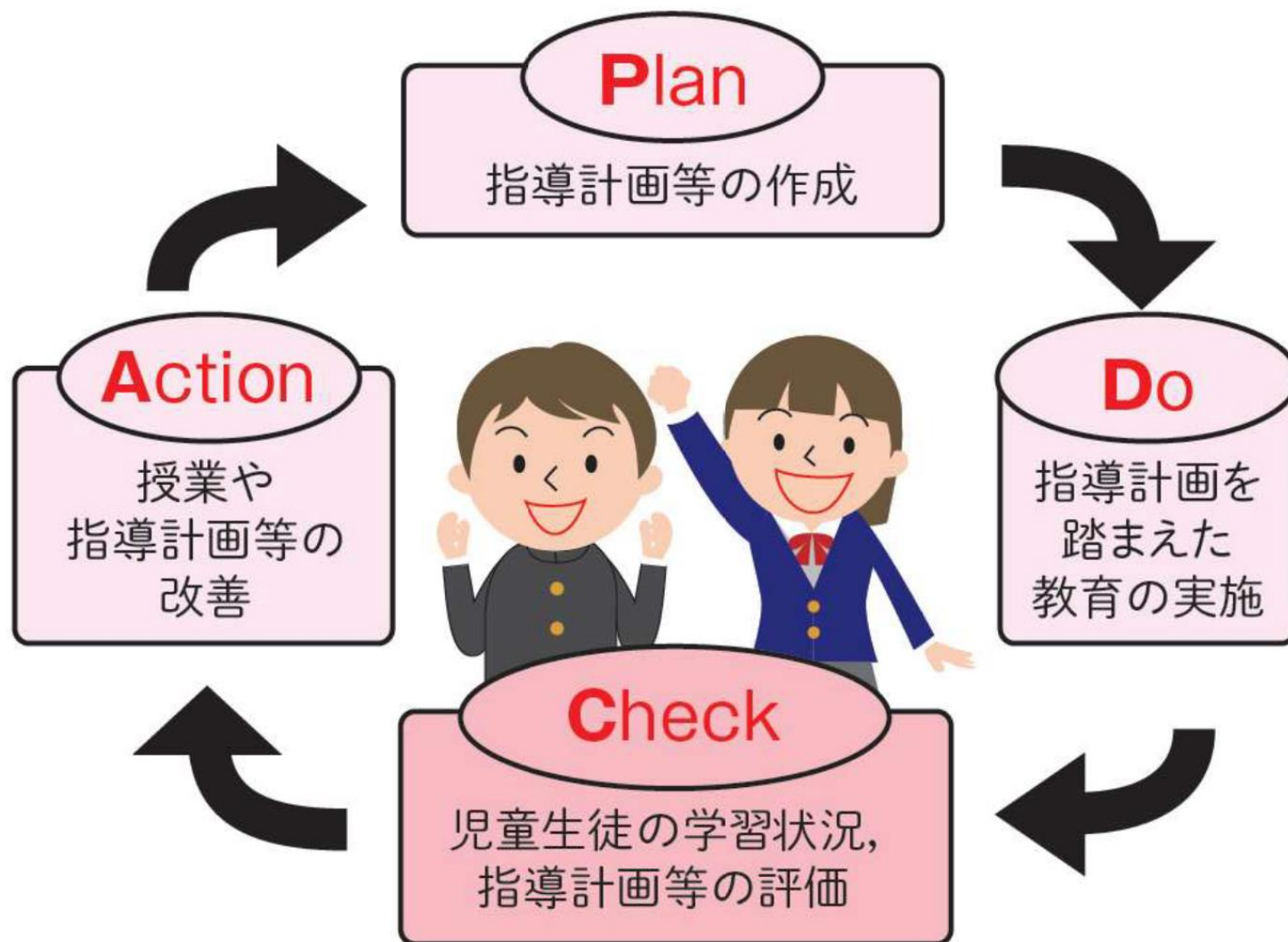
<https://www.nier.go.jp/>

「指導資料・事例集」をクリック

- I 学習評価の基本的な考え方
- II 学習評価の基本構造
- III 各教科等の学習評価
- IV おわりに

**学習評価**：学校における教育活動に関し、生徒の学習状況を評価するもの

「生徒にどういった力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉え、教師が指導の改善を図るとともに、生徒自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにするためにも、学習評価の在り方は重要であり、教育課程や学習・指導方法の改善と一貫性のある取組を進めることが求められます。





☑ 教師の指導改善に  
つながるものにしていくこと

☑ 児童生徒の学習改善に  
つながるものにしていくこと

☑ これまで慣行として行われてきたことでも、  
必要性・妥当性が認められないものは  
見直していくこと

次の授業では  
〇〇を重点的に  
指導しよう。



〇〇のところは  
もっと～した方が  
よいですね。





### 新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする  
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる  
思考力・判断力・表現力等の育成

### 何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、  
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

### 「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

### 何を学ぶか

#### 新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた 教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない※

### どのように学ぶか

#### 主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善

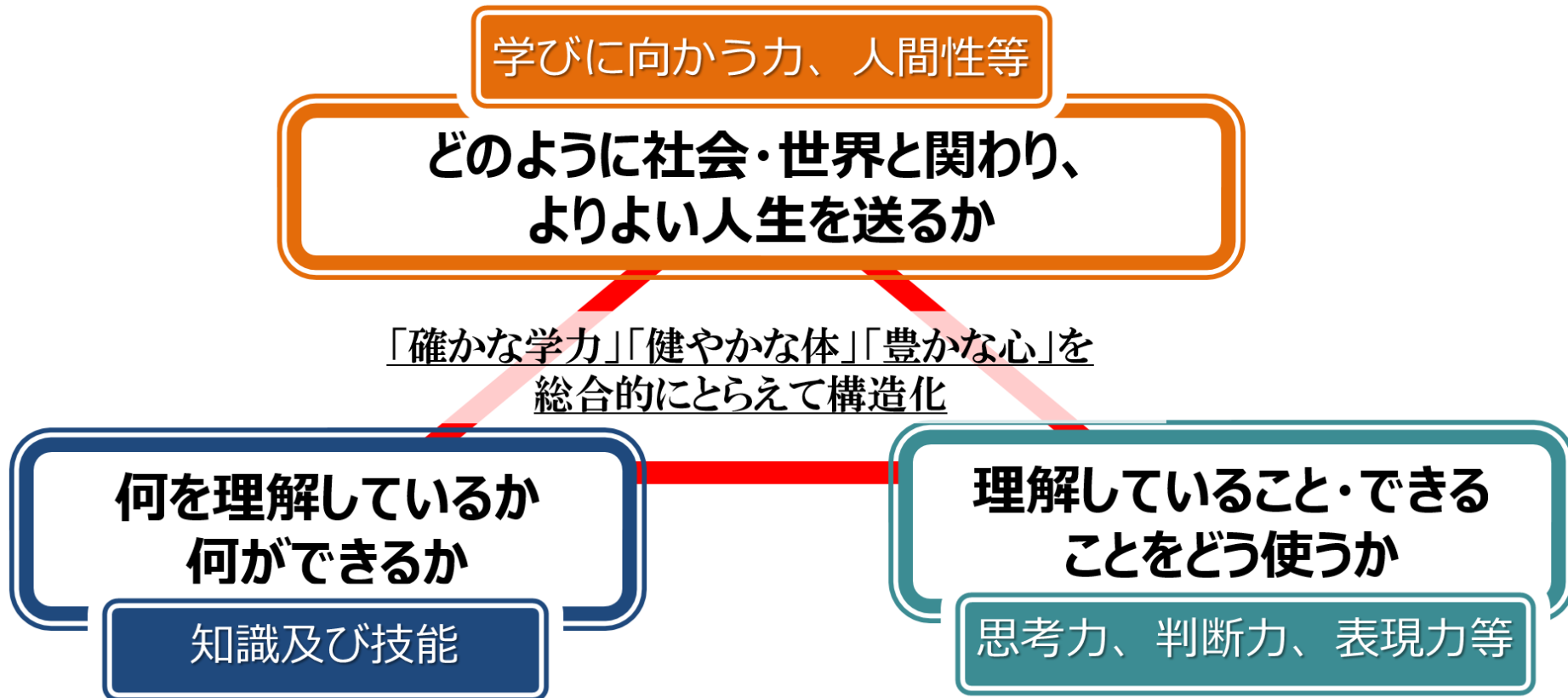
主体的な学び

対話的な学び

深い学び

※高校教育については、些末な事実的知識の暗記が大学入学者選抜で問われることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革等を進める。

学習する子供の視点に立ち、育成を目指す資質・能力の要素を三つの柱で整理。



資質・能力の三つの柱に基づいた目標や内容の再整理を踏まえて、観点別学習状況の評価の観点については、小・中・高等学校の各教科等を通じて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理。

[平成20年改訂]

関心・意欲・態度

思考・判断・表現

技能

知識・理解

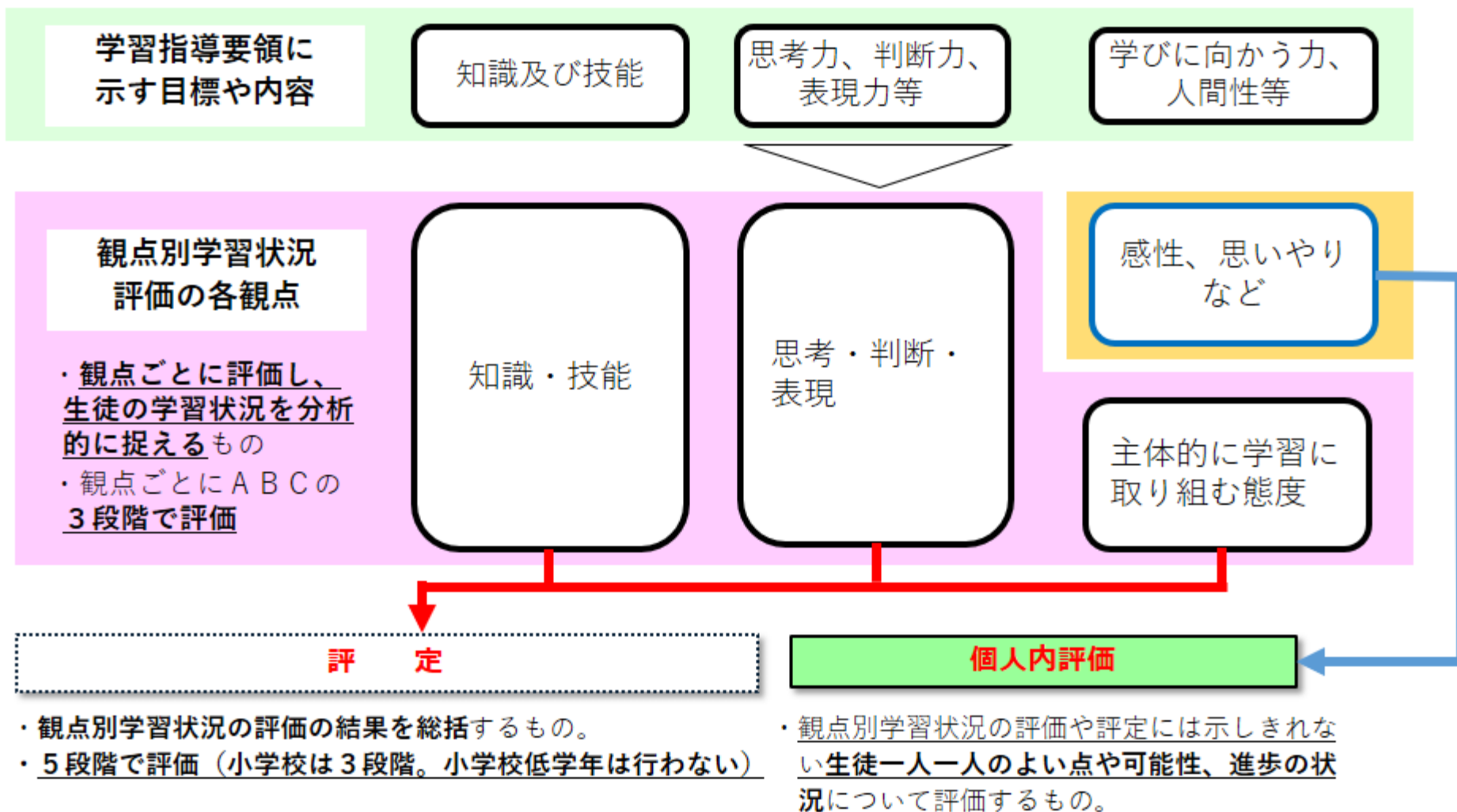


[平成29年改訂]

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に  
取り組む態度



- 個別の知識及び技能の習得状況について評価する。
- それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価する。

※上記の考え方は、現行の評価の観点である

- ・「知識・理解」（各教科等において習得すべき知識や重要な概念等を理解しているかを評価）
- ・「技能」（各教科等において習得すべき技能を生徒が身に付けているかを評価）  
においても重視。

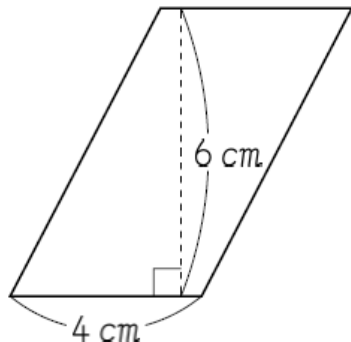
### <評価の工夫（例）>

- ペーパーテストにおいて、事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題とのバランスに配慮する。
- 実際に知識や技能を用いる場面を設ける。
  - ・ 生徒に文章により説明をさせる。
  - ・ （各教科等の内容の特質に応じて、）観察・実験をさせたり、式やグラフで表現させたりする。

# 全国学力・学習状況調査【平成19年度A5(1)B5(3)】

次の図形の面積を求める式と答えを書きましょう。(3) ひろしさんの家の近くに東公園があります。

(1) 平行四辺形

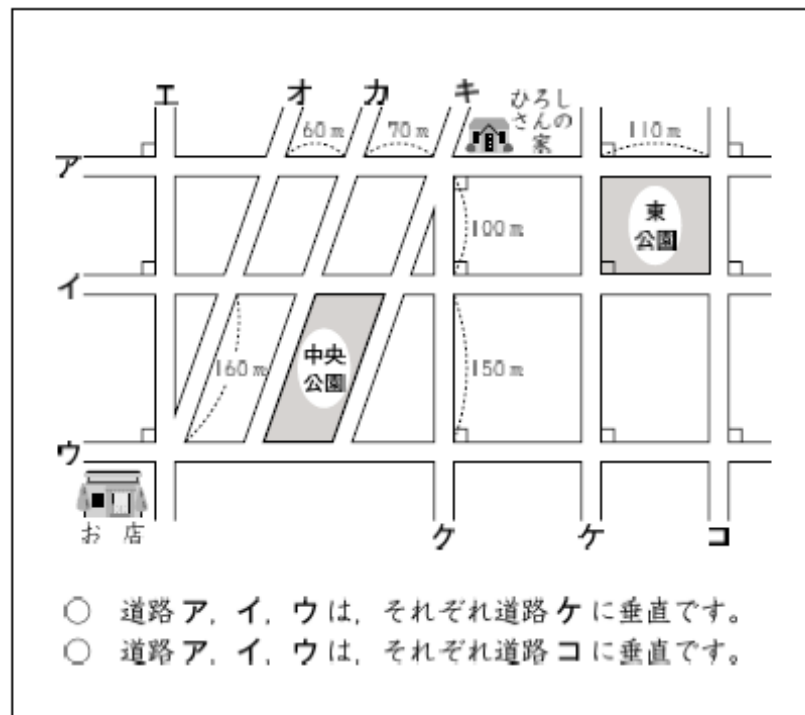


正答率 96.0%

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用することは簡単ではない。

東公園の面積と中央公園の面積では、どちらのほうが広いですか。

答えを書きましょう。また、そのわけを、言葉や式などを使って書きましょう。



正答率 18.2%



各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。

※上記の考え方は、現行の評価の観点である「思考・判断・表現」の観点においても重視。

### <評価の工夫（例）>

- 論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動を取り入れる。
- ポートフォリオを活用する。

# 「主体的に学習に取り組む態度」の評価①

## Ⅲ 各教科等の学習評価

「学びに向かう力、人間性等」には、ア、主体的に学習に取り組む態度として観点別学習状況の評価を通じて見取ることができる部分と、イ、観点別学習状況の評価や評定にはなじまない部分がある。

### 学びに向かう力、人間性等

観点別学習状況の評価には  
なじまない部分  
(感性、思いやり等)

イ

「主体的に学習に取り組む態度」  
として観点別学習状況の  
評価を通じて見取ることが  
できる部分

ア

個人内評価（生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況について評価するもの）等を通じて見取る。

※ 特に「感性や思いやり」など生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況などについては、積極的に評価し生徒に伝えることが重要。

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価する。

# 「主体的に学習に取り組む態度」の評価②

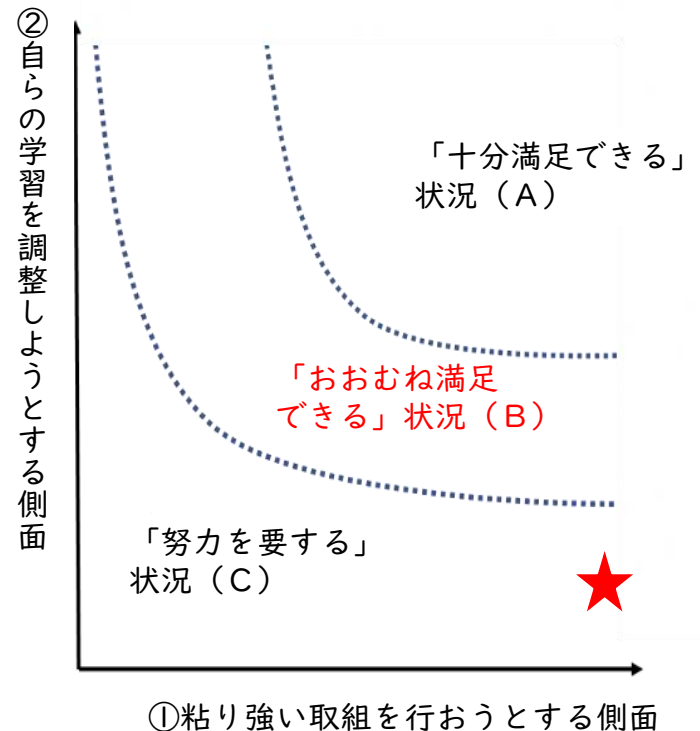
## Ⅲ 各教科等の学習評価

「主体的に学習に取り組む態度」については、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価する。

### 「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ

○ 「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、  
①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面、という二つの側面を評価することが求められる。

○ これら①②の姿は実際の教科等の学びの中では別々ではなく相互に関わり合いながら立ち現れるものと考えられる。例えば、自らの学習を全く調整しようとせず粘り強く取り組み続ける姿や、粘り強さが全くない中で自らの学習を調整する姿は一般的ではない。



### <評価の工夫（例）>

- ノートやレポート等における記述
- 授業中の発言
- 教師による行動観察
- 生徒による自己評価や相互評価等の状況を教師が評価を行う際に考慮する材料の一つとして用いる

※ 「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた上で評価を行う。  
(例えば、ノートにおける特定の記述などを取り出して、他の観点から切り離して「主体的に学習に取り組む態度」として評価することは適切ではない。)

### 観点別学習状況の評価と評定

- ・ 評定を引き続き指導要録上に位置付ける。
- ・ 学習評価の結果の活用に際しては、観点別学習状況の評価と、評定の双方の特長を踏まえつつ、その後の指導の改善等を図ることが重要。

**評定**：各教科等の観点別学習状況の評価の結果を総括的に捉え、教育課程全体における各教科の学習状況を把握することが可能なもの。



評定が観点別学習状況の評価を総括したものであることを示すため、指導要録の参考様式を改善

(例) 中学校国語

教科	観 点	学 年	1	2	3
国 語	知識・技能				
	思考・判断・表現				
	主体的に学習に取り組む態度				
	評定				

※従前の参考様式においては、観点別学習状況の評価を記入する欄と評定を記入する欄は離れた場所であった。

### 観点別学習状況の評価に係る記録の総括

参考資料 P16

#### ① 評価結果のA、B、Cの数を基に総括する場合

何回か行った評価結果のA、B、Cの数が多いものが、その観点の学習の実施状況を最もよく表現しているとする考え方に立つ総括の方法である。

例えば、3回評価を行った結果が「Aが1回、Bが2回」ならばBと総括することが考えられる。

なお、4回評価を行った結果「Aが2回、Bが2回」だった際の総括結果を「A」とするか「B」とするかなど、同数の場合や「A」から「C」が混在する場合の総括の仕方をあらかじめ各学校において決めておく必要がある。

#### ② 評価結果のA、B、Cを数値に置き換えて総括する場合

何回か行った評価結果のA、B、Cを、例えば「A=3、B=2、C=1」のように数値によって表し、合計したり、平均したりする総括の方法である。

例えば、総括の結果をBとする範囲を「 $2.5 \geq \text{平均値} \geq 1.5$ 」とすると、「Aが1回、Bが2回」だった際の平均値は、約2.3  $[(3+2+2) \div 3]$  となり、「B」と総括することが考えられる。




### 観点別学習状況の評価の評定への総括

#### 観点別学習状況

- 「十分満足できる」状況と判断されるもの : **A**
- 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの : **B**
- 「努力を要する」状況と判断されるもの : **C**

#### 各教科の評定

- 「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」  
状況と判断されるもの : **5**
- 「十分満足できる」状況と判断されるもの : **4**
- 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの : **3**
- 「努力を要する」状況と判断されるもの : **2**
- 「一層努力を要する」状況と判断されるもの : **1**



「AAA」 = 5 又は 4  
「BBB」 = 3  
「CCC」 = 2 又は 1

### 評価の方針等の生徒との共有

学習評価の妥当性や信頼性を高めるとともに、生徒自身に学習の見通しをもたせるため、学習評価の方針を事前に生徒と共有する場面を必要に応じて設ける。

※生徒の発達の段階等を踏まえ、適切な工夫が求められる。

### 観点別学習状況の評価を行う場面の精選

観点別学習状況の評価に係る記録は、毎回の授業ではなく、単元や題材などの内容や時間のまとまりごとに行うなど、評価場面を精選する。

※日々の授業における生徒の学習状況を適宜把握して指導の改善に生かすことに重点を置くことが重要。

### 学校全体としての組織的かつ計画的な取組

教師の勤務負担軽減を図りながら学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、学校全体としての組織的かつ計画的な取組を行うことが重要。

- (例)
- ・ 教師同士での評価規準や評価方法の検討、明確化
  - ・ 実践事例の蓄積・共有
  - ・ 評価結果の検討等を通じた教師の力量の向上
  - ・ 校内組織（学年会や教科等部会等）の活用

## 学習評価に関する各種資料

「指導と評価の一体化」のための  
学習評価に関する参考資料



学習評価の在り方ハンドブック  
(小・中学校編)

